

巻頭言

## いのちの言葉

立教大学チャプレン 中川 英樹

この春、立教学院に入学され、新たな学びへと真向かおうとする、あなたに、一つの聖書の言葉を紹介しようと想います。

「主御自身があなたに先立って行き、主御自身があなたと共におられる。主はあなたを見放すことも、見捨てられることもない。恐れてはならない。おののいてはならない。」(申命記第31章8節)

この言葉は、旧約聖書の『申命記』という書物に収蔵されています。申命とは、ヘブライ語で「言葉」を意味し、日本語では「繰り返して命じる」という意味になります。

『申命記』は、神ヤーウェによって、エジプトで苦役を課せられていたイスラエルの人びとの救出・解放を命じられたモーセが、その脱出の道程、その旅は40年にも及ぶものでしたが、その中で語られた、戒めや指示、励ましや勧告を綴ったものです。イスラエルの人びとは、何かあるたびに、この『申命記』に、それこそ「繰り返し」聴くことを通して、神と共に歩む、自分たちの「今」の在り方をReviewしてきました。その意味で、『申命記』と呼ばれる書物は、ユダヤ教においても、そのユダヤ教を前身とするキリスト教において



も、とても重要な位置を占める書物と云えます。

さて、あなたに紹介する、とした冒頭の言葉は、その申命記の巻末に、死期が近づいたモーセが、イスラエルの民全員に向かって、語り遣した言葉として記録されているものです。

「40年」という、永いときの中を、ずっと導いてくれたモーセとの死別。それは、イスラエルの人びとにとって、堪え難い哀しみであり、それ以上に、これからどうなるのか、その先の大きな不安と心配を抱かせるにほかならないものでした。そのような想いを抱えた、彼らイスラエルの人びとに、とくに、偉大なモーセの後継者とされ、イスラエルの人びとを導くこととなったヨシユアに、モーセはこの言葉を語り贈ったのでした。

主御自身があなたに先立って行き、主御自身があなたと共におられる。主はあなたを見放すことも、見捨てられることもない。恐れてはならない。おののいてはならない。

これは、モーセの「決別」の言葉です。しかし、単なる決別の辞ではなく、「励まし」、「希望」の言葉として、この申命記に刻まれました。

わたしにとってのこの言葉は、かつて、わたし自身が人生の危機的な状況に陥ったときに、ある信頼すべき友人から贈られたものです。以来、幾度となく、この申命記の言葉に救われ、励まされ、支えられてきました。今でも、何かをはじめるとき、何かを選ぶとき、足が竦むとき、不安になるとき、逃げ出したくなる時、いつも、この言葉が、わたしの傍らにはあります。困みに、我が家の車のナ

ンバーは、「3108」。この言葉の出典である「申命記第31章8節」から、採ったものです。

主御自身があなたに先立って行き、主御自身があなたと共におられる。主はあなたを見放すことも、見捨てられることもない。

これ以上に、神の本質を語り尽くした言葉はありません。

神はそういう神であるから、あなたは、恐れることも、うろたえることも、おののく必要もないんだと……、それこそ、「繰り返し命じる」という「申命」の意味の通り、繰り返し繰り返し、わたしは、この言葉に聴いています。今も、わたしの人生を支える、とても大きな言葉、「いのちの言葉」であり、きっと、この先もそれは変わらないと思います。

主御自身があなたに先立って行き、  
主御自身があなたと共におられる……。

この言葉の意味は、主なる神は、「あなた」に、「変わる」ことを期待しているのではなく、あなたはあなたで在っていい…… あなたはあなたのままがいい…… その、あなたとわたしは一緒に居るよ、というメッセージです。



たとえ、多くの人が、  
あなたに背を向けたとしても、  
誰一人、あなたのコトを理解する者が  
居なくなったとしても、  
わたしは、あなたを最期まで信頼し、  
応援する……。

わたしは、  
あなたの最大の「味方」だって……。  
それが、神が「共に居てくれる」ということ  
のほんとうの意味だと、わたしは信じています。

あなたが、これから、ここ立教に学ぶ時間、  
そのときは限られています、そんな中でも、  
折ある毎に、聖書を開くこと、聖書に聴く  
ことを大切にもらえたらなあと思っています。  
そして、できることなら、あなたの人生  
を支える、そんな聖書の言葉に、「いのちの  
言葉」に出会ってもらいたい、と心から願  
っています。聖書を開けば、聖書の方から、  
言葉が降ってきます。必ず、あなたに必要な  
いのちの言葉に出会えるはずで。

あなたが聖書を開くときに。

